

住まい まちづくり セミナー

受講料
無料



山口県建築住宅センターは、自分たちの住まいや暮らしをより良くしていくための身近なテーマを取り上げたセミナーを、毎年開催しています。今年、住まいの改修や空き家の活用を地域的な視点から捉え直す「エリア・リノベーション」をテーマとしました。より良い住まい、まちづくりのヒントがきっと見つかるはず。ぜひ奮ってご参加ください！

日時 2017/3/17 [金] 13:30～15:40

場所 山口県旧県会議事堂議場 (山口市滝町1-1 山口県庁舎内) 定員 50～100名

[後援] 山口県 山口県ゆとりある住生活推進協議会 (一社)山口県建築士会 (一社)山口県建築士事務所協会 (一社)山口県建築協会
[お問い合わせ] (一財)山口県建築住宅センター 〒753-0072 山口市大手町3-6 TEL/083-921-8722 FAX/083-921-8723

[内容]

◎主催者あいさつ 松田悦治 ((一財)山口県建築住宅センター理事長 / (一社)山口県建築士会会長)
13:30～13:35

講演 1 「地域文化財を活用したまちづくり ～山口市中心部のエリアリノベーション～」
13:35～14:10 講師 原田正彦 ((一社)山口県建築士会 まちづくり委員長)

講演 2 「創造的まちづくりをいかに進めるか ～大阪長屋からエリアリノベーションへ～」
14:10～15:40 講師 藤田 忍先生 (現大阪市立大学教授、元日本建築士会連合会まちづくり委員長)

私の専門は、すまいづくり、まちづくりの計画論、職能論で、「まちづくりを如何に楽しく盛り上げるか」ということに関心を持っています。中でも「大阪豊崎」は、私たちがここ10年間保全活用に取り組んできた長屋街で、先日NHKがエリアリノベーション全国10ヶ所の事例の一つに取り上げた場所でもあります。2011年からは「オープンナガヤ大阪」という一斉公開イベントを開催しており、去年の第6回では41会場となり、来場者は延べ3千2百人を超えました。いわばエリアリノベーションのネットワークのきざしと言えます。



講演では、この辺りを中心に景観まちづくりやまちなかバル(バル: Bar)、支え合いマーケットなどの事例も取り上げます。ネット、ソーシャルメディアをどう使いこなすか、AR (Augmented Reality: 拡張現実) の可能性なども最後に触れたいと考えています。

◆講師プロフィール

大阪市立大学大学院生活科学研究科教授
1953年大阪生まれ、岐阜育ち、京都大学、同修士課程を経て、大阪市立大学大学院後期博士課程、学術博士。国立小山高専建築学科助教授、旧建設省建築研究所建設経済研究室長等を経て、2002年より現職、現在に至る。



専門は住まい、まちづくりの計画論、職能論。特にまちづくりを如何に楽しく盛り上げるかということに関心があり、1989年から2011年まで日本建築士会連合会のまちづくり委員会等で、景観、まちなみ保全、震災復興等のテーマに対して、ワークショップ、NPO、地域通貨、まちづくり屋台村といった方法、手段、制度を組み合わせ、全国の主としてまちづくり建築士に情報提供してきた。

【主な著書】「まちづくり学」共著、朝倉書店、2007、「いきている長屋 大阪市大モデルの構築」共著、大阪公立大学出版会、2013、等【主な受賞】大阪長屋の再生プロジェクトにより、2010年度日本建築学会教育賞、2011年度グッドデザイン賞経済産業大臣賞、2014年度日本建築士会連合会まちづくり優秀賞等を共同受賞【主な公職】(公社)大阪府建築士会技術顧問、岸和田市景観審議会会長等

受講申し込み 裏面の「セミナー申込書」にご記入の上、FAXしてください。もしくはメールにてお申し込みください。
メールアドレス: kenjhu.c@aioros.ocn.ne.jp FAX/083-921-8723

建築 CPD 実績の登録をされる方は、建築士会 CPD 制度のカード等の ID 番号がわかるものをご持参ください。